

法人トピックス

今年は34名が入職



医療人としてスタートをきる

看護師18名
理学療法士8名
作業療法士5名
言語聴覚士3名
（介護職含む）



手洗いの大切さを学びます



採決の手順



酸素療法を受ける人への看護

外来診療のご案内

外来受付時間	午前9時～午後12時まで
外来診療時間	午前9時30分～午後12時まで
休診日	日曜日・祝日・ 年末年始（12/29～1/3）

内科外来担当医師

赤字は女性医師

リハ外来は予約制

	月	火	水	木	金	土
1診	右原	林	右原	水本	眞島	リハ 外来
2診	神田	大塚	中川	坂本	神田	林

赤字は女性医師

精神科外来担当医師

	月	火	水	木	金	土
1診	田原	岸本	平井	井上雄	もの忘れ 外来	当番医
2診	洪	田原	松本	嶋吉	田原	嶋吉
3診	杉山	中井	井上慶	洪	石川	当番医
5診		中島			西川	こどもの 心

もの忘れ外来、こどもの心（児童思春期）外来は予約制
（0745-64-2069）

～無料シャトルバスのお知らせ～

八木方面 ○近鉄 大和八木駅（南側ローソン前）
 橿原方面 ○近鉄 橿原神宮前駅 西出口
 ○JR 玉手駅（踏切南側）
 高田方面 ○近鉄 御所駅（バスロータリー内）
 ○JR 高田駅（西出口側ロータリー内）
 ○近鉄 大和高田駅（正面ロータリー前）
令和3年8月2日



無料シャトルバス



時刻表



乗車位置

No.11 2022年6月1日発行

医療法人 鴻池会

秋津鴻池病院 ニュース 6

2022 June



秋津鴻池病院

精神科における
リハビリテーション医療

法人トピックス

- 新入職者情報
- 研修の様子

【お問い合わせ】

秋津鴻池病院 医療相談課（9時～16時30分）

➤ 医療機関 入院相談専用

FAX：0745-64-2078

➤ 当日緊急対応が必要な場合
内線番号1149（9:00～17:15）

〒639-2273

奈良県御所市池之内1064

TEL：0745-63-0601 FAX：0745-62-1092



精神科における

精神科医である私がリハビリテーションと出会ったのは、1990年頃から参加した「老人の専門医療を考える会」での活動からです。老人医療の質を上げるためには、寝たきり高齢者を起こすこと、寝たきりを造らないことが最優先課題とされ、リハビリテーション専門職とソーシャルワーカー（医療相談員）の採用と育成に努めました。

また、1986年に「老人保健施設」制度が誕生しました。老人保健施設はそれまでの医療と福祉を統合した新しいタイプの、高齢者介護とリハビリテーションのための施設です。当医療法人では1988年に奈良県内最初となる老人保健施設を開設しました。

2000年には回復期リハビリテーション病棟入院料が制度化され、当院ではその翌年から回復期リハビリテーション病棟を運用しております。精神科病床が全体の8割近くを占める当院で県内民間病院の最初となる回復期リハビリテーション病棟を開設できたのは、30年に及ぶリハビリテーションへの取り組みの結果であると思っています。

今後は「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築が求められています。精神科におけるリハビリテーション医療をさらに充実していきたいと思っています。



医療法人鴻池会 理事長 平井基陽



院長 岸本年史



リハビリテーション部
部長 西田宗幹



精神科作業療法
課長 松本裕二



認定作業療法士
課長補佐 千葉亜紀



理学療法士
係長 石橋

多職種チーム医療で患者さんや
家族の皆様での生活を応援しています

入院においては早期より、医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・介護福祉士・精神保健福祉士・社会福祉士・管理栄養士などの専門職がチームとなってリハビリテーションを提供し、機能低下を防止し回復するように努めています。外来ではデイケアを中心に患者さんの社会復帰を目指しています。今後、生活技能訓練やワークプログラムなどを取り入れてさらなる充実を目指しています。

病院だけでなく、退院後の生活を
見据えた対応の強化が求められる

当院の特徴は、精神科作業療法による精神面へのアプローチ、理学療法・身障作業療法、言語聴覚療法による身体面へのアプローチと両側面から実施するプログラムを有しており、私共が関わる方が退院後、その方が望む、その方らしい生活を獲得でき、継続できるところまで考えて支援させていただきます。「地域包括ケアシステム」を構築する援助として、これらのさらなる強化を図っていきたいと思います。

「できないこと」より
「できること」を大切に支援しています

「できないこと」を練習して「できる」ようになることも必要ですが、精神科作業療法では、患者さんの「できること」に着目し、大切にしています。作業を使い「できること」を強化して、自身の能力を知ってもらい、その能力を使って仲間と協力したり、称賛や人の役に立つ経験を通して自信を回復して頂くことを目標に支援しています。

元気になる
機会を増やす支援をします

「すること（役割）・行く場所がある」
「得意なこと・楽しみがある」「誰かの役に立てている」と思え、実行することで心は元気になります。
年齢を重ねたり、認知症などの病気を持つとこれらの機会が減り、心の元気がなくなり、体の機能も低下することがあります。
リハビリテーションでは、元気になる機会をどう増やすか・実行できるようにするかを考えて支援しています。

身体リハビリテーションを通して
皆様の生活と心身の健康を支援します

精神科においても、身体的な健康管理は重要であり、身体的な介入が精神症状を和らげることもあります。
身体リハビリテーションでは、運動療法や動作練習、環境調整などを実施し、身体機能や生活の中でできることの改善を目標としています。